

森林環境税活用事業報告①

高知北高校では、「総合的な探究の時間」の 私たちと環境 グループが、「森林環境税活用事業」を活用して、自然環境について考える様々な活動を行っています。

「森林環境税活用事業」とは、高知県の取組の1つです。高知県は、県民みんなの負担で森づくりを進めるため、平成15年に全国に先駆けて森林環境税を導入しました。この税を使って森林環境学習への支援も行われており、それを高知北高校でも活用しています。

その内容について紹介していきます。

11月17日(金)「バードカービングに挑戦」

今回は、木に親しむことを目的として、バードカービングに挑戦をしました。「体験活動高知」代表の堀田幸生先生を講師に招き、雑木から小鳥を誕生させました。

生徒たちからは、「木を削るのが大変でした。ナイフの持ち方はいろいろあることが分かりました。かわいい鳥ができて、とても嬉しかったです。」「最初はナイフの持ち方が分からなかったけど、慣れてきて楽しく鳥を作ることができたので嬉しかったです。」「松の木が意外と柔らかくて削りやすかったです。初めてだったけど、きれいにできて良かったです。家族に見てもらいたいなと思いました。自分の作品を褒めるのが難しかったけど嬉しかったです。」などの感想がありました。木に直接触れて自分の力で加工するという経験は、ふだんはなかなかできないことだと思います。この授業をきっかけに、木の良さについて知ってもらいたいです。

